

ウラジロウコギ	<i>Eletherococcus hypoleucus</i> (Makino) Nakai	絶滅危惧I類	
		ウコギ科	
選定理由	生育地が限定される上に、もともとの個体数が少なく、継続的な減少が予測されるため。	写真(岐阜県博物館) 標本 	
形態の特徴	長枝のみからなり、細かい刺が多数ある。葉は表面脈上に刺状毛を散生し、裏面は白色無毛、そろった鋭鋸歯がある。頂小葉は長さ6-10cm、先は尾状鋭先端、基部は直線的なくさび形で小葉柄に続く。花期は7-8月。花序は長枝の枝先に3個程度つき、花序軸は無毛。花柱は1本。		
生態的特徴	山地にはえる高さ1.5-3mの落葉低木。		
分布状況	本州(関東地方西部以西)・四国・九州の太平洋側に分布し、石灰岩地にあることが多い。岐阜県では県南西部のみに分布する。		
減少要因	開発に伴う山林伐採、砕石事業。		
保全対策	開発行為からの生育環境の保全。		
特記事項			
参考文献	山崎 敬. 1989. ウコギ科. 「日本の野生植物 木本Ⅱ」(佐竹義輔・原寛・巨利俊次・富成忠夫編) pp113-120. 平凡社, 東京.		

文責: 清水英彦